明石	5工業高等	导門子校	<u> </u>	引講年度	2 つかい	4年度 (2	022平反)	文t	業科目	機械環境	<u> </u>		
科目基	礎情報												
科目番号	1	4518					科目区分		専門 / 選択				
受業形態		講義					単位の種別と単	.位数	履修単位				
記学科							対象学年	122.57	5				
和政 于何 和設期								2					
				而村正治 维木/// # # # # # # # # # # # # # # # # # #			/C 3123//		に広じて護美	田のプリン・ト	、 を配布ワー		
教科書/教	書/教材				71600、1402 7で示します	信哉 、御法川字:「機械首響上字」、〕 で示します。			コロナ社・必要に応じて講義用のプリントを配布又は				
□当教員		大西 慶											
到達目		/ \L /3C											
1)機械 2)機械 3)機械	が環境に及るが環境に及るが環境に及る	ぼす影響を規	制する法	令の内容	を理解し、打	技術者とし	知識を理解でき ての責任を理解 に関する知識を	できる。	5る。				
レーノ	リック		-m+n	45 1 × 7 11> + 1		_	I=34-45 1 - 7-13+ 1						
				理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レ	ベルのE	3安	未到達レ/	未到達レベルの目安		
評価項目1			理解	機械が環境に及ぼす影響を十分に 理解し、機械が源となる騒音・振 動の基礎知識を十分に理解できる			機械が環境に及ぼす影響を理解し 、機械が源となる騒音・振動の基 礎知識を理解できる。			が源となる	機械が環境に及ぼす影響と、機械が源となる騒音・振動の基礎知識 を理解できない。		
評価項目2			る法を	機械が環境に及ぼす影響を規制する法令の内容を十分に理解し、技術者としての責任を十分に理解できる。			る法令の内容を理解し、技術者と る法令			る法令の	竟に及ぼす景 内容を理解で の責任を理解	きず、技術	
平価項目	13		機械がるため	機械が環境に及ぼす影響を低減するための、騒音・振動の計測・対 策に関する知識を十分に習得でき			るための、騒音・振動の計測・対 るため			るための、	竟に及ぼす景 騒音・振動 る知識を習得	加計測・対	
	到读日堙!	 項目との関					1						
		スロしいぼ	<u>ਹੀਨ</u>										
数育方: 既要	<u> </u>	機械の騒	掻音・振動	カ関連開発	『業務に従事	『していた教	機械からの騒音・ 対員が、その経験 ううものです。	振動が	少なからす し、機械の	が影響している D騒音・振動の	ます。この科 こよる生活環	目は企業で 境の保全の	
学業の進	め方・方法						<u>リン 097 と 70 。</u> 路員:國峰寛司						
											m1±/0 ^ - +	1	
主意点		び対策の	の基本的知	🛛 識を身に	ニ付けること	を意識し講	こなっています。 講義に臨んでくた 欠課	機械の際さい。	騒音・振動	かによる生活球	東境保全の た	めの計測及	
主意点 受 業 の	属性 • 履(び対策の合格の対	の基本的知 対象とした	🛛 識を身に	は避けて通れ □付けること ≷件(割合) コ	を意識し講	購義に臨んでくた	機械の!!	騒音・振動	かによる生活理	環境保全のた 	:めの計測及 	
受業の 〕 アク:	ティブラーニ	び対策の 合格の対 多上の区分	の基本的知 対象としな	🛛 識を身に	ニ付けること	:を意識し講 1/3以上のグ	購義に臨んでくた	さい。	騒音・振動		環境保全のだ		
受業の 〕アク:	ティブラーニ	び対策の 合格の対 多上の区分	の基本的知時を表現した。	□識を身に よい欠席条 CT 利用	ニ付けること	:を意識し講 1/3以上のグ	構義に臨んでくた 欠課	だ <u>.</u>		☑ 実務経			
受業の 〕アク:	ティブラーニ	び対策の 合格の対 修上の区分 ニング	の基本的知 対象としな ・	旧識を身に よい欠席条 CT 利用	:付けること 条件(割合) 1	を意識し請1/3以上のグ	講義(に臨んでくた 欠課 ☑ 遠隔授業対加	さい。	の到達目	☑ 実務紹	経験のある教	員による授	
受業の 〕アク:	ティブラーニ	び対策の 合格の対 修 <u>上の区分</u> ニング 週 1週	の基本的知识を表現である。 「は、一直には、一直には、一直には、一直には、一直には、一直には、一直には、一直に	ロ識を身に い欠席条 CT 利用 容 影響する機	- 付けること - (本(割合) 1 - (本の軽音・	を意識し請1/3以上のグ	講義(に臨んでくた 欠課 ☑ 遠隔授業対加	さい。 適ごと 講義の	の到達目: 概要につ	図 実務経際	経験のある教 を絡めて理解	員による授 <u>.</u>	
受業の アク	ティブラーニ	び対策の 合格の対 多上の区分 ニング 週 1週 2週	D基本的知 対象としな □ Io 授業内容 環境に景 環境騒音	日識を身に 以い欠席条 CT 利用 容 影響する機 等(1) 騒	- 付けること - 件(割合) 1 - 機械の騒音・ 音の性質	を意識しま 1/3以上のク 振動につい	講義(に臨んでくた 欠課 ☑ 遠隔授業対加	道ごと 講義の 環境騒	の到達目: 概要につ 音の技術	☑ 実務経 標 いて、事例等 的な性質につ	を絡めて理解でき いて理解でき	員による授 解できる。 きる。	
受業の) アク:	ティブラーニ	で対策の 合格の対 多上の区分 ニング 週 1週 2週 3週	D基本的知 対象としな プログログログログログログログログログログログログログログログログログログログ	回識を身に はい欠席条 CT 利用 容 影響する様 音(1) 騒 音(2) 騒	: 付けること	を意識しま 1/3以上のか 振動につい 1)	講義(に臨んでくた 欠課 ☑ 遠隔授業対加	週ごと 講義の 環境騒	の到達目 概要につ 音の技術 音の計測	図 実務経票いて、事例等的な性質につ手法について	験のある教 を絡めて理解 できる。 でまなって理解できる。	員による授 解できる。 きる。	
受業の) アク:	ティブラーニ	び対策の 合格の対 多上の区分 ニング 週 1週 2週	D基本的知 対象としな □ Io 授業内容 環境に景 環境騒音	回識を身に はい欠席条 CT 利用 容 影響する様 音(1) 騒 音(2) 騒	- 付けること - 件(割合) 1 - 機械の騒音・ 音の性質	を意識しま 1/3以上のか 振動につい 1)	講義(に臨んでくた 欠課 ☑ 遠隔授業対加	週ごと 講義の 環境騒	の到達目 概要につ 音の技術 音の計測	☑ 実務経 標 いて、事例等 的な性質につ	験のある教 を絡めて理解 できる。 でまなって理解できる。	員による授 解できる。 きる。	
受業の] アク:	ティブラー <u>:</u> 画	では	D基本的知 対象としな 対 関 環境に 環境 環境 環境 環境 環境 環境 環境 電 環境 電 環境 電 環境	回識を身に にない欠席条 CT 利用 容 影響する様 音(1) 騒 音(2) 騒 音(3) 騒 音(4) リ	: 付けること 条件(割合) 1 機械の騒音・ 音の性質 音の計測 (音の計測 (を意識しま 1/3以上の分 振動につい 1) 2)	講義(に臨んでくた 欠課 ☑ 遠隔授業対加	さい。 週ご 講義の 環境 環境 環境 駆 駆 1 1 1 1 1 1 1 1 1 	の到達目: 概要につ :音の技術 :音の計測: :音の計測: ~第4週の	□ 実務経票いて、事例等かな性質につ手法について手法について内容の問題を	を絡めて理解 いて理解できる。 理解できる。 解くことが	員による授 解できる。 きる。 できる。環	
受業の 〕アク:	ティブラーニ	で対策の 合格の対 多上の区分 ニング 週 1週 2週 3週	D基本的知力を表示した。 □ Id	回識を身に条 に対して 利用 容 響 する 騒 騒 子 音 (1) 騒 騒 月 音 (2) 騒 乗 力 展 乗 力 乗 乗 力 乗 乗 力 乗 乗 力 乗 乗 力 乗 乗 力 乗 乗 力 乗 乗 力 乗 乗 力	: 付けること 条件(割合) 1 養械の騒音・ 音の性質 音の計測 (音の計測 (・テスト、テ	を意識しま 1/3以上のク 振動につい 1) 2) 	講義(に臨んでくた 文課 ② 遠隔授業対加	さい。 週ご 選講 環境 環境 騒騒 環境 騒 環境 騒 環境 騒 電 環境 最	の到達目 概要につ 音の技術 音の計測 音の計測 ~第4週の 評価手法 音の予測	に 実務経 に 実務経 に 実例等 に で 事例等 に で で 手法について 手法について 手法について 手法について と関連法規に と関連法規に 及び対策の考	を絡めて理解 いて理解できる。 理解できる。 理解できる。 解くことが ついて理解で	員による授 解できる。 きる。 できる。環	
受業の 〕アク:	ティブラー <u>:</u> 画	では	D基本的知力 □ IO 授業内容 環境騒音 環境騒音 環境騒音 環境騒音 環境騒音 環境駆音 環境駆音 環境駆音 大	回識を原席 CT 利用 容 響 する機 騒 軽 う 音 (1) 騒 騒 騒 ほ (2) 騒 ほ (4) 別 騒 ほ ほん い ほん い ほん い ほん い に は に は	(((((((((((((((((((を意識しま 1/3以上のク 振動につい 1) 2) -スト後解記 対策 (パッ	講義(に臨んでくた 文課 図 遠隔授業対加 いて	さい。 週週講覧 環境 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	の到達目 概要につ 新音の計測 音の計測 音の計測 音の計測 音ができる 音ができる。	に 実務経 に 実務経 に 実例等 に で 事例等 に で で 手法について 手法について 手法について 手法について と関連法規に と関連法規に 及び対策の考	を絡めて理解いて理解できる。 理解できる。 理解できる。 解くことがついて理解で え方について	員による授 解できる。 きる。 できる。環 できる。 できる。	
受業の。	ティブラー <u>:</u> 画	では	D基本とした。 □ Id 「	回識や を	横板の騒音・音の性質 音の計測(音の計測(音の計測(テスト、テ 音の予測・注 音の対策(ナビリティと	を意識しま 1/3以上のク 振動につい 1) 2) テスト後解記 対策 (パッ アクティブ ご計量	議義(に臨んでくた 文課	さい。 週講 環境 第 環境 環で 環の 環で 環の 騒騒 騒 週の 騒理 騒る 騒て	の到達目 概の技術 音の計測の計画の計測ので対策で対策で対策で対策で対策で対策で対策で対策で対策で対策で対策では対して対策を対策を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を	原 実務経際 実際のでは、事例等的な性質について、事例等を対象について、手法について、対容の問題をと関連法規に及び対策の考え方について、表対では、表対では、表対では、表対では、表対では、表対では、表対では、表対では	を絡めて理解いて理解できる。 理解できる。 解くこ理解できる。 がついて理解で え方について え方について る計測器に必	員による授 解できる。 きる。 できる。環 できる。 できる。 できる。 できる。 な と を 終めて理解 必要な条件(
受業の。	ティブラー <u>:</u> 画	では 下の区分 下の区分 こング 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週	D基本とした。 □ Id 「	回識や を	横板の騒音・音の性質 音の計測(音の計測(音の計測(テスト、テ 音の予測・注 音の対策(ナビリティと	を意識しま 1/3以上のク 振動につい 1) 2) テスト後解記 対策 (パッ アクティブ ご計量	講義に臨んでくた 文課 ② 遠隔授業対応 いて ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	通 講 環 第騒 環め 環で 環つ 11 銀 の 騒 騒 騒 りの 騒 騒 騒 りの いっぱ いっぱ かんしょう かん いっぱ かん いん いっぱ かん いっぱ	の到達目では一番では、一番では、一番では、一番では、一番では、一番では、一番では、一番で	票 実務経際 できます できます できまま できまま できまま できまま できまま できまま	を絡めて理解 いて理解できる。 理解できる。 がつえ方について て、事例等を る計測器に必 解くことが	員による授 解できる。 きる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 で	
受業の。	ティブラー <u>:</u> 画	Page Page	D基を	ロ識の で	横板の騒音・音の性質 音の計測(音の計測(音の計測(テスト、デ 音の対策(サビリティと が後解説、環	を意識し記(/3以上のグリカリング) (/3以上のグリカリング) (/3以上のグリカリカリカリカリカリカリカリカリカリカリカリカリカリカリカリカリカリカリカ	議義(に臨んでくた 文課	さい。 週講 環境 第騒 環め 環で 環つ 第振 環境 11音 境で 境き 境い 11動の 騒理 騒る 騒で 週の	の到達目の披露の計測の表別でで対して、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では	原 実務経際 といて、事例等的な性質について、手法について、手法について、手法について、対容の問題をとと関連対策の考え方について、表すである。 内容の問題を性質について、	を絡めて理解いてきる。 理解できる。 理解できる。 解くこで理解できる。 解くことがで る計測器に必 解くことが、 理解できる。	真による授 解できる。 きる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 で	
受業の アクラ	ティブラー <u>:</u> 画	Topic To	D基本とした。 □ Id 「「「「」」 「「」 「「」 「「」 「「」 「「」 「「」 「「」 「「	ロ識を で で で で で で で で で で	機械の騒音・音の計測(音の計測(音の計測(テスト)。 音の対策(きの対策)が、ティとは、アインのでは、デストが、アインのでは、アインではないがは、アインではないがでは、アインでは、アインでは、アインではないがではないがではないがではないがではないがではないがではないがではないが	を意識し記(/3以上のグリカリング) (/3以上のグリカリング) (/3以上のグリカリカリカリカリカリカリカリカリカリカリカリカリカリカリカリカリカリカリカ	議義(に臨んでくた 文課	透い。 週講環境 第騒 環め 環で環つ 第振 環 の 騒 騒 騒 りの 騒 軽 騒 を を を を を を を を を を を を を を を を を	の到達目の概要で対論で対象で対象で対象で対象で対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対	歴 歴 で で で で で で で で で で で で で	を絡めて理解できる。 理解できる。 理解できるができるができるができるができるができるができるができるができるができるが	員による授 解できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。	
受業の アクラ	ティブラー <u>:</u> 画	Total Row Part of the content	D基本と	Table (1)Table (2)Table (3)Table (4)Table (3)Table (4)Table (4)	(対ける合) 1 と (を意識しま 1/3以上のク 振動につい 1) 2) スト後解認 対策 (パッ アクティブ 二計量 環境振動(1) 2)	議義(に臨んでくた 文課	透り の	の到達目の概音のの計測では、音理の技制測の法別ので対・解ののが対・のので対・ので対・ので対・解ので対・解のでのでのでのでのでのでのでのでいる。 音楽 でいる はい かい はい かい はい	原 実務経際 いて、事例等のな性質について、手法について、手法について、手法について、 内関連法の問題をととして、 大きのでは、 大きのでは、 大きのでは、 大きのののでは、 大きののでは、 大きのでは、 まのでは、 大きのでは、 はいきのでは、 はいないは、 はいは、 はいは、 はいは、 はいは、 はいは、 はいは、	を終のある教 を絡めて理解できる。 理解でききとがで がのえ方に、事例等で る計測器にがる。 でで理解できる。 ででする。 がでは、 ないに、 ないに、 ないに、 ないに、 ないででは、 ないででは、 ないでは、 はいでは、 ないでは	員による授 解できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。	
受業の。	ティブラー <u>:</u> 画	Total	D基を	回説 で で で に で で に で で に で で に で で に で に で に で に で に で に で に で に で に の に 。 に の に 。 。 に 。 。 。 。 に 。 。 。 に 。 。 。 。	機械の騒音・音の計測(音の計測(音の計測(でをある) では、デースをできる。 音の対策(できる) では、デースをできる。 音の対策(できる) では、デースをできる。 が、できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。	を意識しま (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A)	議義(に臨んでくた 文課	さい。 週講境境境 1音 境で 環つ 第振 環境境 1音 境で 境き 境い 1動 境境境境 1 1 1 1 1 動 境境境 環境 環境 最 騒 1 1 1 動 原 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	の到達目の概音のの計測をできる。音理 / 技動動動ののののののので対策ででででででででででででででででででででででででででで	原 実務経際 いて、事例等いて、事例等について、事例等では性質について、 手法について、 方法について、 方法について、 方法について、 方と関連対策の考え方について、 まるの問題を と関連な性質につて、 手法と関連法	を絡めて理解できる。 を絡めて理解できる。 ができるができるができるができるができる。 ができるができるができる。 ができるができる。 ができるができる。 できる。 がでででいていていていていていていていていていていていていていていていていていて	員による授 解できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。	
受業の。	ティブラー <u>:</u> 画	Total Row Part of the content	D基本と	回説 で で で に で で に で で に で で に で で に で に で に で に で に で に で に で に で に の に 。 に の に 。 。 に 。 。 。 。 に 。 。 。 に 。 。 。 。	(対ける合) 1 と (を意識しま (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A)	議義(に臨んでくた 文課	透い。 週 講 環 環 第騒 環め 環で 環つ 第振 環 環 境 境 境 11音 境 で 境 さ 境 い 11動 境 境 境 境 境 境 域 弱 騒 騒 騒 風の 騒理 騒る 騒て 週の 振 振 振 振 振	の概音音音(を)評音解音。音理 〉技動動動動のののは、測測の法測るので対す。 ・解のので、対・解のので、対・解のののののののののののののののののののののののののののののののののののの	原 実務経 原 いて、事例等 りな性質いいで 手法につい題をととしてでいる。 考え方につい題をとしている。 を関連対策のも、関題では、 では、では、では、 では、では、では、では、 では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	を絡めて理解できる。 を絡理解ででこと解する。 を解する。がでいた。 を解する。がでは、 ででできるがでいた。 を解する。がでは、 でででは、 ででででいた。 を解する。 を解する。 をおいては、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 で	員による授 解できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。	
受業の。	ティブラー <u>:</u> 画 3rdQ	Total	D基象 □ Id □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	Tak C T 利用	機械の騒音・音の計測(音の計測(音の計測(でをある) では、デースをできる。 音の対策(できる) では、デースをできる。 音の対策(できる) では、デースをできる。 が、できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。	を 意識し 記述上の 加加に 1) 2) テスト後解認 対策 (パップライブ) ご言環境振動(1) 2) 関連法規 対策	講義(に臨んでくた) 文課 ② 遠隔授業対応 ハて ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	透い。 週 講 環 環 第騒 環め 環で 環つ 第振 環 環 環 境 境 11音 境で 境き 境い 11動 境 境 境 境 境 り 11動 境 境 境 境 り 18週 20 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11	の概音音音(音) / 評音解音。音理 / 技動動動のの 第4 のの ります ・ 解 8 で 週的 技計 週の で 対 ・ 解 8 で 週の 技計 測 の と	原 いて、事例等の 手法について 手法につい題を ととして 手法にの問題が 大のでは、 大のでは、 大のでのでででして でででいる。 でででいる。 ででは、 でののででででいる。 では、 でののででででいる。 では、 でののででででいる。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	を終のある教 を絡のでできる。 がでできる。がでいた。 を解する。 がでは、 をかる。 をかる。 をかる。 をがなる。 をかる。 をかる。 をかる。 をかる。 をかる。 をかる。 をかる。 をか	員による授 解できる。 できる。 できる。 できる。 を絡めて理解 必要な条件に できる。 理解できる。 できる。	
受業の。	ティブラー <u>:</u> 画 3rdQ	Total Ration Part of the content of the conte	D	 T S S<td>(機械の騒音・音の計測(音の計測(下スト) 音の計測(下スト) 音の対策(対とりが表しています。 音の対策(対しています。 音の対策(対しています。 一般では、できる。 がある。 がある。 がある。 はいます。 もいます。 もいます。 もいます。 もいます。 もいます。 もいます。 もいま。 もいま。 もいま。 もいま。 もいま。 もいま。 もいま。 もいま</td><td>を意識し記(73以上のグリカリング) (1/3以上のグリカリング) (1/3以上のグリカリカリカリカリカリカリカリカリカリカリカリカリカリカリカリカリカリカリカ</td><td>講義(に臨んでくた) 文課 ② 遠隔授業対加 ハて ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</td><td>さい。 週 講 環 第騒 環め 環で 環つ 第振 環 環 環。 第8 騒つるい。 ぎ の 騒 騒 騒 過の 騒理 騒る 騒て 過の 振 振 振 過乏・てと</td><td>の概音音音〉評音解音。音理〉技動動動 >の振理が到要ののの第価ので対・解第術のののの第総動解で達に技計計週手予き策 環で週的技計評予 13話分できるのな術測値別 週と野きる</td><td>原 いて、事例等 かな性質につて 手法につい思を とと及び 考え 動。 を関連対策ののでして 表ののではでしいでする。 を関連対策のののではでいてする。 を関いてでしてでいてである。 を関いてできる。 をしたる。 をした。</td><td>を終のある教 を終のある教 を終い理理解ででこれででこれでは、 を経れて解する。ので理解ででこれでは、 をとがでいるででは、 を必ず、 をときな解する。のとは、 を必ず、 をときない。 で理ででいい。 ととき解さい。 とときない。 とときない。 とときない。 とときない。 とときない。 とときない。 とときない。 とときない。 とときない。 とときない。 とときない。 とときない。 とときない。 とという。 とときない。 とときない。 とときない。 とときない。 とという。 とという。 とときない。 とときない。 とときない。 とときない。 とときない。 とときない。 とという。 とときない。 とという。 とときない。 とときない。 とときない。 とという。 とときない。 とという。 とときない。 とという。 とといる。 とという。 とという。 とという。 とという。 とという。 とという。 とという。 とという。 とという。 とという。 ととい。 ととい</td><td>員による授 解できる。 きる。 できる。 できる。等を終 を終めなる。 できる。等を終れて理解できる。等である。 できる。等にまでする。 できる。等にませていた。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。</td>	(機械の騒音・音の計測(音の計測(下スト) 音の計測(下スト) 音の対策(対とりが表しています。 音の対策(対しています。 音の対策(対しています。 一般では、できる。 がある。 がある。 がある。 はいます。 もいます。 もいます。 もいます。 もいます。 もいます。 もいます。 もいま。 もいま。 もいま。 もいま。 もいま。 もいま。 もいま。 もいま	を意識し記(73以上のグリカリング) (1/3以上のグリカリング) (1/3以上のグリカリカリカリカリカリカリカリカリカリカリカリカリカリカリカリカリカリカリカ	講義(に臨んでくた) 文課 ② 遠隔授業対加 ハて ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	さい。 週 講 環 第騒 環め 環で 環つ 第振 環 環 環。 第8 騒つるい。 ぎ の 騒 騒 騒 過の 騒理 騒る 騒て 過の 振 振 振 過乏・てと	の概音音音〉評音解音。音理〉技動動動 >の振理が到要ののの第価ので対・解第術のののの第総動解で達に技計計週手予き策 環で週的技計評予 13話分できるのな術測値別 週と野きる	原 いて、事例等 かな性質につて 手法につい思を とと及び 考え 動。 を関連対策ののでして 表ののではでしいでする。 を関連対策のののではでいてする。 を関いてでしてでいてである。 を関いてできる。 をしたる。 をした。	を終のある教 を終のある教 を終い理理解ででこれででこれでは、 を経れて解する。ので理解ででこれでは、 をとがでいるででは、 を必ず、 をときな解する。のとは、 を必ず、 をときない。 で理ででいい。 ととき解さい。 とときない。 とときない。 とときない。 とときない。 とときない。 とときない。 とときない。 とときない。 とときない。 とときない。 とときない。 とときない。 とときない。 とという。 とときない。 とときない。 とときない。 とときない。 とという。 とという。 とときない。 とときない。 とときない。 とときない。 とときない。 とときない。 とという。 とときない。 とという。 とときない。 とときない。 とときない。 とという。 とときない。 とという。 とときない。 とという。 とといる。 とという。 とという。 とという。 とという。 とという。 とという。 とという。 とという。 とという。 とという。 ととい。 ととい	員による授 解できる。 きる。 できる。 できる。等を終 を終めなる。 できる。等を終れて理解できる。等である。 できる。等にまでする。 できる。等にませていた。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。	
受業の。	ティブラー <u>:</u> 画 3rdQ	Total	D	TTSSSSSSSSSSSSSSSSSSSSSSSSSSSSSSSSSSSSSSSSSSSSSSSSSSSSSSSSSSSSSSSSSSSSSSSSSSSSSSSSSSSSSSSSSSSSSSSSSSSSSSSSSSSSSSSSSSSSSSSSSSSSSSSSSSSSSSSSSSSSSSSSSSSSSSSSSSSSSSSSSSSSSSSSSSSSSSSSSSSSSSSSSSSSSSSSSSSSSSSSSS	(付付割合) 1 () () () () () () () () ()	を意識し記(73以上のグリカリング) (1/3以上のグリカリング) (1/3以上のグリカリカリカリカリカリカリカリカリカリカリカリカリカリカリカリカリカリカリカ	講義(に臨んでくた) 文課 ② 遠隔授業対加 ハて ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	さい。 週 講 環 第騒 環め 環で 環つ 第振 環 環 環。 第8 騒つるい。 ぎ の 騒 騒 騒 過の 騒理 騒る 騒て 過の 振 振 振 過乏・てと	の概音音音〉評音解音。音理〉技動動動 >の振理が到要ののの第価ので対・解第術のののの第総動解で達に技計計週手予き策 環で週的技計評予 13話分できるのな術測値別 週と野きる	原 実務経際 では、事例等の手法となった。 またでは、事例のでは、事例の手法ににの問題が、方ををしていいのでは、では、事例のでは、またで、事例のでは、またで、事のでは、ないで、事のでは、事のでは、事のでは、事のでは、事のでは、事のでは、事のでは、事ので	を終のある教 を終のある教 を終い理理解ででこれででこれでは、 を経れて解する。ので理解ででこれでは、 をとがでいるででは、 を必ず、 をときな解する。のとは、 を必ず、 をときない。 で理ででいい。 ととき解さい。 とときない。 とときない。 とときない。 とときない。 とときない。 とときない。 とときない。 とときない。 とときない。 とときない。 とときない。 とときない。 とときない。 とという。 とときない。 とときない。 とときない。 とときない。 とという。 とという。 とときない。 とときない。 とときない。 とときない。 とときない。 とときない。 とという。 とときない。 とという。 とときない。 とときない。 とときない。 とという。 とときない。 とという。 とときない。 とという。 とといる。 とという。 とという。 とという。 とという。 とという。 とという。 とという。 とという。 とという。 とという。 ととい。 ととい	員による授 解できる。 きる。 できる。 できる。等を終 を終めなる。 できる。等を終れて理解できる。等である。 できる。等にまでする。 できる。等にませていた。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。	
受業の (受業計 (受業計	アィブラー <u>:</u> 画 3rdQ 4thQ	Part	D	 Inix CT 容影音音音音音音音 の ト 動(3) を	ではいる。 機械の騒音・ 音音の計測(では、テークを対象をは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では	を意識し記(73以上のグリカリング) (1/3以上のグリカリング) (1/3以上のグリカリカリカリカリカリカリカリカリカリカリカリカリカリカリカリカリカリカリカ	講義(に臨んでくた) 文課 ② 遠隔授業対加 ハて ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	さい。 週 講 環 第騒 環め 環で 環つ 第振 環 環 環。 第8 騒つるい。 ぎ の 騒 騒 騒 過の 騒理 騒る 騒て 過の 振 振 振 過乏・てと	の概音音音〉評音解音。音理〉技動動動 >の振理が到要ののの第価ので対・解第術のののの第総動解で達に技計計週手予き策 環で週的技計評予 13話分できるのな術測値別 週と野きる	原 実務経際 では、事例等の手法となった。 またでは、事例のでは、事例の手法ににの問題が、方ををしていいのでは、では、事例のでは、またで、事例のでは、またで、事のでは、ないで、事のでは、事のでは、事のでは、事のでは、事のでは、事のでは、事のでは、事ので	を終のある教 を終のある教 を終い理理解ででこれででこれでは、 を経れて解する。ので理解ででこれでは、 をとがでいるででは、 を必ず、 をときな解する。のとは、 を必ず、 をときない。 で理ででいい。 ととき解さい。 とときない。 とときない。 とときない。 とときない。 とときない。 とときない。 とときない。 とときない。 とときない。 とときない。 とときない。 とときない。 とときない。 とという。 とときない。 とときない。 とときない。 とときない。 とという。 とという。 とときない。 とときない。 とときない。 とときない。 とときない。 とときない。 とという。 とときない。 とという。 とときない。 とときない。 とときない。 とという。 とときない。 とという。 とときない。 とという。 とといる。 とという。 とという。 とという。 とという。 とという。 とという。 とという。 とという。 とという。 とという。 ととい。 ととい	員による授 解できる。 きる。 できる。 できる。等を終 を終めなる。 できる。等を終れて理解できる。等である。 できる。等にまでする。 できる。等にませていた。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。	
受業の 受業計 受業計 が が で で が で が で が で が で が で が で が に で が に に が に に に に に に に に に に に に に	アィブラー <u>:</u> 画 3rdQ 4thQ	Part	D 対	 ロ歌 C 容影音音音音音音音音 D ト 動(3) ト ボ 後 容 を P 席	では、 機械の性別別、 いっとは、 の性別別、 いっとは、 のをは、 でったが、 できますが、 できままが、 できままが、 できままが、 できままが、 できままが、 できままが、 できまが、 で	を意識し記(73以上のグリカリング) (1/3以上のグリカリング) (1/3以上のグリカリカリカリカリカリカリカリカリカリカリカリカリカリカリカリカリカリカリカ	講義(に臨んでくた) 図 遠隔授業対加 小て	さい。 週 講 環 第騒 環め 環で 環つ 第振 環 環 環。 第8 騒つるい。 ぎ の 騒 騒 騒 過の 騒理 騒る 騒て 過の 振 振 振 過乏・てと	の概音音音〉評音解音。音理〉技動動動 >の振理が到要ののの第価ので対・解第術のののの第総動解で達に技計計週手予き策 環で週的技計評予 13話分できるのな術測値別 週と野きる	票 が 手 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大	を終のある教 を終のある教 を終い理理解ででこれででこれでは、 を経れて解する。ので理解ででこれでは、 をとがでいるででは、 を必ず、 をときな解する。のとは、 を必ず、 をときない。 で理ででいい。 ととき解さい。 とときない。 とときない。 とときない。 とときない。 とときない。 とときない。 とときない。 とときない。 とときない。 とときない。 とときない。 とときない。 とときない。 とという。 とときない。 とときない。 とときない。 とときない。 とという。 とという。 とときない。 とときない。 とときない。 とときない。 とときない。 とときない。 とという。 とときない。 とという。 とときない。 とときない。 とときない。 とという。 とときない。 とという。 とときない。 とという。 とといる。 とという。 とという。 とという。 とという。 とという。 とという。 とという。 とという。 とという。 とという。 ととい。 ととい	員による授 解さる。 できる。等である。等である。等である。等である。 でできる。等である。等である。 理理である。特振関である。等に関する。 できる。等に関する。 できる。等に関する。 できる。等に関する。	
受業の ファク: 受業計 受業計	要に対すっこ 画 3rdQ 4thQ	Part	の対象	 Inix CT 容影音音音音音音音 の ト 動(3) を	ではいます。 では、	を意識しいのか 振動につい 1) 2) スト後解説 対策 (パップ 二計量 環境振動(1) 2) 関連法規 対策	講義(に臨んでくた) 図 遠隔授業対加 小て	さい。 週講環 第 籍 環め 環で 環つ 第振 環 環 環 。 第 8 8 日 2 6 7 8 8 日 2 6 7 8 8 日 2 6 7 8 8 日 2 6 7 8 8 日 2 6 7 8 8 日 2 6 7 8 8 日 2 6 7 8 8 日 2 6 7 8 8 日 2 6 7 8 8 日 2 6 7 8 8 日 2 6 7 8 8 日 2 6 7 8 8 日 2 6 7 8 8 日 2 6 7 8 8 8 日 2 6 7 8 8 8 日 2 6 7 8 8 8 日 2 6 7 8 8 8 日 2 6 7 8 8 8 8 7 8 8 8 8 7 8 8 8 8 7 8 8 8 8 8 7 8 8 8 8 8 8 7 8	の 概音 音音 〉評音解音。音理〉技動動動 動動〉の振理が題 建 に 技計計 週手 予き 策 環で 週的 技計 評 予 13括 分できつ 13括 分できつ 第4 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	票 がする。 を を で で で で で で で で で で で で で	をい理理解のえてる解理い理規えを) 技総・である。がでこででこでの例器とき解さいつここのと動のとは「なるのと動る」でする。がである。です。 かんしょう かんしょう はいしょう はいしょう はいしょう はいしょう はいしょう はいしょう はいしょう できる しょう はいしょう はい はいしょう はい はいしょう はい はい はい はいしょう はいしょう はい	員による授 解する。 できる。 できる。等では、できる。等では、でできる。 なる。。等では、できる。 なる。 できる。 はまる。 できる。 はまる。 はな。 はなる。 はなる。 はなる。 はなる。 はなる。 はなる。 はなる。 はなる。 はなる。 はなる。 はな。 はなる。 はなる。 はな。 はな。 はな。 はな。 はな。 はな。 はな。 はな	

				対数関数を含む簡単	単な方程式を解くる	ことができる。		4	後4
				1次元のデータを動ができる。	೬理して、平均・分	↑散・標準偏差を求	めること	4	後4
	自然科学	学 物理	力学	周期、振動数など単振動を特徴づける諸量を求めることができる。				4	後11
				単振動における変位、速度、加速度、力の関係を説明できる。				4	後11
			波動	波の振幅、波長、周期、振動数、速さについて説明できる。				4	後4
				横波と縦波の違いについて説明できる。				4	後4
				波の重ね合わせの原理について説明できる。				4	後5
				定常波の特徴(節、腹の振動のようすなど)を説明できる。				4	後5
				気柱の長さと音速から、開管、閉管の固有振動数を求めることができる(開口端補正は考えない)。				4	後10
				共振、共鳴現象に	4	後10			
	分野別の専 門工学			振動の種類および調和振動を説明できる。				4	後12
			力学	調和外力による減衰系の強制振動を運動方程式で表し、系の運動 を説明できる。				4	後10
				調和変位による減を説明できる。	4	後10			
專門的能力		機械系分里	計測制御	計測の定義と種類を説明できる。				4	後2
				測定誤差の原因と種類、精度と不確かさを説明できる。				4	後2
				国際単位系の構成を理解し、SI単位およびSI接頭語を説明できる。				4	後2
				代表的な物理量の計測方法と計測機器を説明できる。				4	後1
	汎用的技能	 汎用的技能	汎用的技能	課題の解決は直感や常識にとらわれず、論理的な手順で考えなければならないことを知っている。				3	
	" d' 13 = 33 X (13	" d/ 13 = 33×13		事実をもとに論理や考察を展開できる。				3	
分野横断的 能力				法令やルールを遵守した行動をとれる。				3	
	態度・志向			企業には社会的責任があることを認識している。				3	
	性(人間力)	性 	性 	高専で学んだ専門分野・一般科目の知識が、企業等でどのように 活用・応用されているかを認識できる。				3	
評価割合									
定期試		験 .	小テスト	授業態度				合	計
総合評価割合	à 40		50	10	0	0	0	10)0
基礎的能力	0		0	0	0	0	0	0	
専門的能力	40		50	10	0	0	0	10)0
分野横断的能	E力 0		0	0	0	0	0	0	